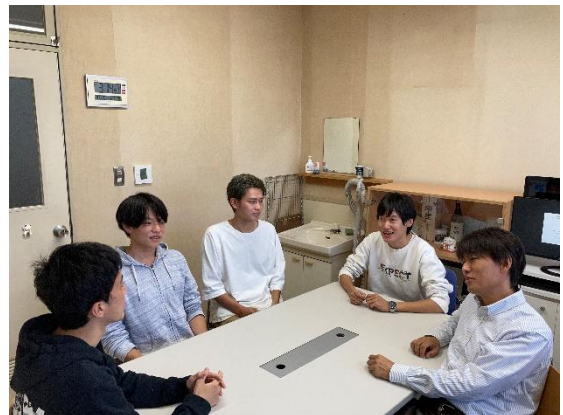


世代交代に向けて

先日大学院進学が決定しているB4生の中で研究室運営の係が決定したということで、今回は新しく代表補佐に就任しましたB4の山田が係決定後に思ったことや意気込み等を話します。代表補佐に決定し、ふと今までの振り返ると、私は小・中・大学生の時に部活動で副キャプテンをし、中学生の頃は生徒会でも副会長をしていました。そう考えると、今回代表補佐という係になったことで今までの経験を今後の研究室の運営に活かしていけるのではないかと思います。来年度の代表は宮田さんに決定したということで、今年以上に研究室をまとめてくださるのではないかと思います。私も代表のサポートや研究室がスムーズに運営できるように努力して

いきます！先輩方もあと約半年で卒業されるので、できるだけ早く仕事に慣れ、研究室の運営がより良いものになるよう、新しく係が決まった皆さん頑張ってください！



新旧代表・代表補佐と福田先生

執筆:山田 将司(新・代表補佐)

ゼミ集計結果

10月2日～10月23日に行われた全体ゼミでの質問回数を集計しています。

例)氏名 上記期間中の回数(累計)

吉田	7回(12回)	添島	6回(13回)
村上玲	6回(12回)	深見	3回(11回)
寺西	3回(3回)	坂口	2回(7回)
江口	2回(5回)	古賀	2回(5回)
鮎川	2回(5回)	宮田	2回(5回)
安藤	2回(4回)	窪園	1回(5回)
徳丸	1回(4回)	坂上	1回(3回)
大下	1回(3回)	村上綾	1回(3回)
山口	1回(3回)	山下	1回(1回)
田中	0回(6回)	高柳	0回(5回)
城	0回(3回)	湊田	0回(3回)
綾部	0回(2回)	黒川	0回(2回)
山田	0回(2回)	宮川	0回(2回)
築地	0回(0回)		

11月の予定

全体ゼミは、基本的にCOM室で13時開始になります。

ゼミの予定は急遽変更になることもあるので、各自確認をお願いします。

- 6日(金) Bグループ<COM室>
- 13日(金) Cグループ<COM室>
- 20日(金) Aグループ<COM室>
- 27日(金) Dグループ<オンライン>

全体ゼミ詳細は[コチラ](#)

研究室マネジメント新体制

2020後期 CPSLabo 組織図



後期に差し掛かり、引き継ぎも兼ねて新体制を取ります。
新規係は以下の3つです。

「キャリア・情報」→就活に関する情報収集・共有・対策

「計算機運用・ネットワーク」→IPアドレス・GPGPU管理, PC初期化など

「調達・会計」→研究室の消耗備品の購入, 資金調達

執筆・編集: 吉田 麗央(代表補佐)

今月のコラム

「〇〇の秋」

「適度な運動にバレーボール」

筆者: 綾部 龍(山口研B4)

スポーツの秋ということで、ここ最近涼しくなってきた運動も気持ちよくできる季節になったので私の趣味であるバレーボールをする機会が増えてきました。バレーは室内競技ということもあり、今年はなかなか活動ができませんでしたが、感染対策を行いながら少しずつ試合のようなものも増えてきました。私が普段しているバレーは男女混成9人制バレーというものです。男性も女性もいて、下は20代から上は50代まで、バレー初心者の方も経験者の方も混ざって楽しくやっています。最初は難しいこともあるかもしれませんが、プレイ年齢は幅広く末永くできる競技だと思うので、機会があればぜひチャレンジしてみてください。



「私の推しスイーツ」

筆者:村上 玲奈 (福田研M2)

秋といえば“食欲の秋”なので、今回は、私の推しスイーツである”プリン”の魅力についてお伝えします(写真は、最近食べたプリンです)。最近、巷でプチブームにもなっていますが、一度食べるとあなたもプリンの虜です。個人的な推しプリンの特徴は、”固めの食感×苦めのキャラメルソース”です。この苦めのキャラメルソースがたまらなく美味しいのです・・・！佐賀だと佐嘉神社裏の小さなカフェのプリンがイチオシなのですが、今はコロナの影響で販売してない・・・かも？手軽に食べられるものであれば、セ〇ンイレブンさんの「窯焼きとろ生カスタードプリン」がオススメなので、是非食べてみてください！



「食欲の秋 ～林檎狩り～」

筆者:田中 翔子 (山口研B4)

皆さんは秋といえば何が思い浮かぶでしょうか。私は食欲の秋を思い浮かべます。さつまいもや秋刀魚など、秋は旬の美味しい食べ物が沢山あります。先日初めて林檎狩りに行きました。林檎は木になっているので、専用の長い棒を使って採ります。採った後はその場で皮を剥いて食べました。採れたての林檎はみずみずしくて美味しかったです。お腹を空かせて行きましたが、結構お腹に溜まるので二個食べるのが限界でした。食べきれなかった林檎は持ち帰って、家でアップルパイを焼きました。初めて作ったので見た目は悪いのですが、美味しくできて家族も喜んでくれたので良かったです。皆さんも機会があったら旬の果物狩りを楽しんでみてください。



第1回スポーツ会

実施日時:10月7日(水)10:30-13:00

実施内容:バドミントン



当日のレクリエーションの様子

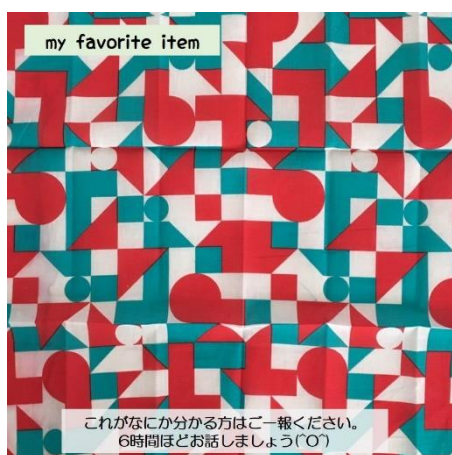
第1回スポーツ会(バドミントン)を開催しました！今回は血気盛んな男達ばかりだったので、トーナメント形式で行いました。優勝は宮田君でした。やっぱり次期リーダーは格が違いますね。今回のスポーツ会では、後輩たちが先輩たちをボコボコにする場面が多々あり、すごく印象的で面白かったです。これを通して、ゼミで「先輩だから…」と意見が言いづらいような人も、容赦なく意見をぶつけあうような関係性を築けたら、研究活動ももっと盛り上がるんじゃないかなと思いました。交流するだけでなく、運動不足で悩んでいる方はいませんか？一緒に運動して大変な研究活動やコロナに負けない体を作りましょう！このスポーツ会は、今後も定期的に開催していこうと考えています。学年や性別を問わず、先生や留学生の方も気軽に交流できるような会にしていきたいと思っていますので、是非みなさんの参加をお待ちしております！

執筆:添島 克駿(レクリエーション係)

自己紹介 ～新しい仲間編～

寺西 司(てらにし つかさ)

出身地 兵庫県
 好きなもの 果物, 辛いもの
 好きなこと お散歩, 言葉遊び
 苦手なこと プログラミング, 電話
 欲しい能力 瞬間移動



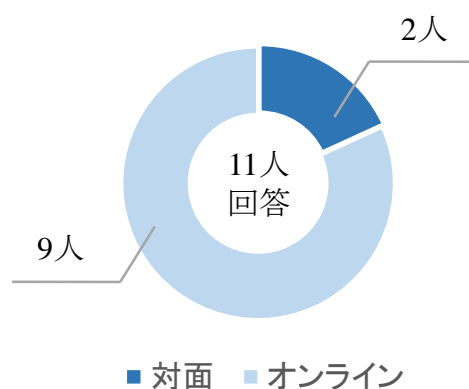
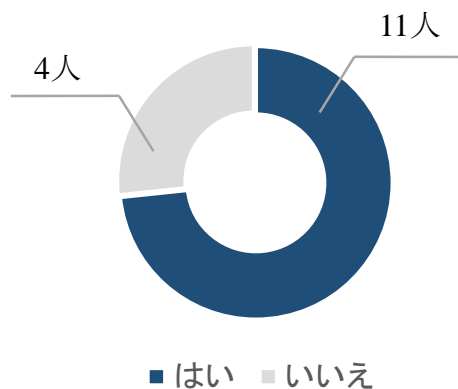
紆余曲折ありまして、突然やってきました。寺西です。自己紹介は苦手なので何を言っているのか分からないことを書きます。面白きこともなき世を面白くをモットーにこれまで生きてきました。面白いコトをずっと探しています。教えてください。暴投でもデッドボールでもなんでも受け止めます。そして打ち返します。良い引き出しを持っているかどうかは分かりませんが、開けてみてください。異論、反論、議論、大好きです。また、極力出さないように努力しますがポンコツです。助けようのないときは構いませんが、助けられるときは助けてください。この研究室を好きにもっともっと好きになっていければ良いと考えています。よろしくお祈いします。

執筆: 寺西 司(福田研M1)

内定式アンケート

就職予定者の中には、10月に内定式が開催された人も多いのではないのでしょうか。今回は、来春就職予定者15名を対象に、内定式アンケートを実施しました。

Q. 内定式が開催されましたか？(開催された場合、どんな形式？)



1時間30分～2時間程度 3人
 3時間30分～4時間程度 4人
 4時間以上 3人

[次頁へつづく](#)

Q. 実施時間は？

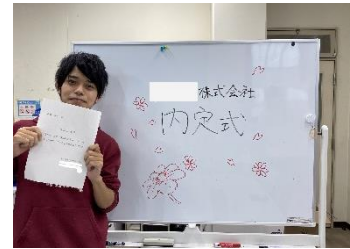
Q. 実施内容は？(複数回答可)

- | | | | |
|-------------------|-----|--------------------------|----|
| ・内定証書授与 | 7人 | ・ランチ会・座談会等 | 5人 |
| ・社長・取締役等の挨拶/歓迎の言葉 | 10人 | ・記念撮影 | 5人 |
| ・会社紹介・見学(オンライン含む) | 5人 | ・その他 | |
| ・部活動・サークル紹介 | 3人 | (内定者自己紹介, 内定者研修の案内・実施 他) | |

Q. 内定式で印象に残ったこと

内定式が開催されなかった為
皆に祝ってもらった添島君

- ・内定式と研修がセットだったこと
- ・内定式前に、佐賀にまつわるお菓子(佐賀錦, 丸ぼうろ等)を送っていただいたこと
- ・オンラインという形式のため、同期や人事、役員の方などの印象がつかみづらいこと
- ・オンラインで基本ミュートで拍手の音が相手に届かない分、カメラに収まる形で内定者全員がやっていたのを褒められたこと
- ・会社紹介時、社員さんがカメラを持って社内紹介してもらえたこと
- ・中継をつないでいただき、一日で一気に各支店を見て回れたこと
- ・当日風邪症状のある方だけがオンラインで参加していたこと
- ・これまではオンラインの懇親会などで同期の顔を見ていたが、内定式は対面で行われた為、「今後こんな人達と働くのか」と気が引き締まった



回答いただいた皆さん、ありがとうございました！

就活イベント体験記

株式会社佐賀電算センター インターンシップ

実施日時:9月14日(月)~9月18日(金)
実施内容:Pepperのプログラミング体験など



この度、地方創生インターンシップという授業の一環で、株式会社佐賀電算センター様にお邪魔させて頂きました。この授業は履修登録すれば県内企業の情報を貰え、単位も出るので、授業に研究に学会、ゼミにバイトに就活と忙しい方は利用すれば多少負担を減らせるのではないのでしょうか。現在はインターンをオンラインで行う企業が多いですが、県内という事もあり、実際に会社へ出向いての物で、期間は1週間でした。夏休みで授業はなかったものの、ゼミや会議等を数回休ませて頂く事になりましたがそれでも1週間行ってよかったですと思います。初日が説明や交流会で、2日目~最終日午前がPepperプログラミング体験、

午後で発表会という日程でした。じっくり時間をかけ作成した物を、プロの方に見てもらい評価が頂けるという事で、モチベーションにも繋がりました。合間合間に技術紹介や新入社員様との交流会などを挟んでいただき、資料では得られない生の声を聞く事ができ、会社の雰囲気等を掴む事ができました。私はあまり真面目な学生でなく、学部の際には進学すると決め就職活動を行わなかったため、今回が初めてのインターンとなりますが、就職活動に対する姿勢、イメージを掴めたと思います。進学する予定の方でも参加してみる事には大きな意義があると思います。

執筆:築地 貫太(山口研M1)

左: 坂口大介 (福田研M2)

【参加学会】

ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2019 他

右: 鮎川拓也 (山口研M2)

【参加学会】

ファジィシステム シンポジウム 他



トークテーマ

はじめての学会

左: 宮田竜輔 (福田研M1)

【参加学会】

ICOVET2020 他

右: 窪園隆介 (福田研M2)

【参加学会】

ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2019 他



はじめての学会

坂口 私が参加した学会は(今年の)6月に窪園君と一緒に参加した”ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2019”です. その時はポスターセッション形式で, お客さんがいっぱい来てるから(1時間半)ずっと喋ってる感じでした. ひたすら自分がやれることをずっと説明してたって感じだったので, 学会終わって初めての感想は「疲れた」でした. 窪園は初めての学会はどんな感じだった?

窪園 坂口君も言ってた通り, 同じ学会に出たんですけど, ポスターセッションだったからこそ, 実際に使ってる機械やパソコンごと持って行って, 目の前でデモをするということをしました. デモをすることでインパクトがあって, 先生からも「周りに比べて人が多かったよ」って言ってもらえるぐらい色々な人が聞きに来ただけで, 緊張を感じてる暇が無かった. 始まる前までは, 「あー緊張するな」という感じだったんですけど, いざ始まったらずっと終わるっていう. あと学会で緊張して, やっぱり終わった時って

窪園 疲労感があったんだけど, その後は広島を観光できたので, ただ疲れるだけじゃないっていうことは言っときたいなと.

坂口 もちろん「自分がやったことを発表すること」も”達成”という意味では大切だろうけど, 「他のところを経験出来る」っていうのもあるのかなって. 鮎川君は初めての学会はどうだった?

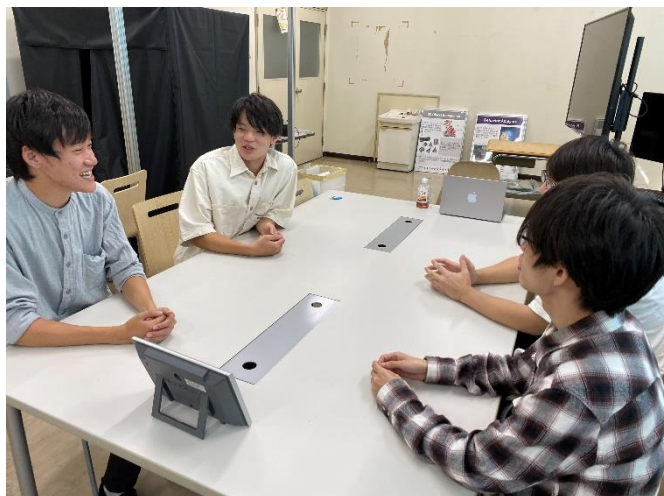
鮎川 ファジィ システム シンポジウム(FSS2019)が一応初めての学会で, (今年の)9月上旬ぐらいだったと思うんですけど, 大雨で電車が止まるわ, バス止まるわで, 空港まで行けなくて参加できなかったっていうのがあったんですよ. なので, 発表したのはFSS2020が初めてになります. でもFSS2020も, コロナの影響でオンライン開催ということで, 家からやってたんですけど, 正直全体ゼミとほぼ変わらない感じでしたね. アドバイスとかもそんなに堅苦しくないというか, 「まあこういうのやってみたら」みたいな, 結構気さくという感じだったので, そんなに緊張もしなかったです. 発表直前になって急に通信状況が悪くなって, 急遽発表順をちょっと送らせてもらったりしたんですけど…(苦笑)

坂口 オンラインならではのトラブルですね….

鮎川 大学でやったほうが良かったかなあとは. その日もたしか台風だったんですよ.

坂口 じゃあ, 自分が思うところで良いので, 「オンラインのこういうところが良かった, でもこんなところがオフラインの方が良かったかもね」というところが聞ければ…

(次頁へ続く)



鮎川 メリットはまず、立て替えてもらえるとはいえ、旅費とか自力で一切払わなくていいということとところというのは大きくて。

窪園 現実的(笑)
それこそ台風来て、去年だったら行くの断念したけど、オンラインだったからこそ(今年は)参加出来たということ。

鮎川 そうですね。今回オフラインだったら絶対また中止だったので…。今年のFSS2020は久留米である予定で、(台風が)直撃だったのであってなかったなっていうのはありますね。天候とかに左右されないのは”メリット”ですね。”デメリット”は、何ですかね…。学会の空気感っていうのは分からずじまいというか。それと発表者の顔というか、身振り・手振りが分かりづらっていうのは、やっぱり”画面越しだから”っていうのはありました。んーデメリット…旅行が出来ない。

窪園 一番はそれでしょう(笑)

坂口 じゃあ、満を持して宮田君！宮田君の初めての学会は？

宮田 僕はICOVET2020です。インドネシアで開催された(学会で)、オンラインだったんですけど初めての学会ということで、10分～15分の発表に対して、まず予稿を4枚書いて、その後それを英訳して、そしてその後スライドを作るっていう作業が本当に新鮮で楽しみながらできたかなと思います。もともと窪園さんの後に(順番が)僕だったんですけど、休憩が入るっていうスケジュールだったんですよ。で、まあ結構余裕ぶっこいて待ってたら、「じゃあ、次は宮田さん…」みたいになって、急遽バタバタでチェンジしてっていうのがあって、そこが焦りポイントでしたね。

窪園 そうだね。「ZOOMの名前変えなきゃいけない…」とか「やばい、マイクついてる！」とかね。

一同 (笑)

坂口 色んな”はじめて”が掛け合わさって、トラブルのもとになっちゃったっていう。

宮田 そうですね。英語の発表自体は前にも一回やってたんで、英語の意味を理解しながら、スライドと照らし合わせて発表するってことがちゃんと出来たのかなと。



“はじめての学会”参加者へアドバイス

窪園 本当に全体ゼミの延長みたいな感じ。CPS研究室って割とレベルの高いゼミしてると思うので、緊張はするかもしれないけど、意外と出てみたら、「こんなものかあ」みたいに感じると思うから、その分全体ゼミを真面目に取り組んだらいいかなと思います。

坂口 僕も「発表する部分」、「自分が原稿を作ってスライド作って、口頭で発表する」ってところまでは、ほとんど全体ゼミとやってることは変わらないかなという気分。唯一違うと思うのが、相手から質問される時にゼミだとある程度知ってる内容っていう前提で質問が飛んでくると思うんだけど、学会だったら思ってもみなかった質問が飛んできたりすることが時々ある。そういうのが逆に刺激的な所もあるかなって思う。

鮎川 アブストとかスライド作るにあたって、全体ゼミのスライドとかを読み返して、それを基に書くことになるので、「普段のゼミって本当に大切だな」と改めて認識した。予稿書く時にも、誰にでも伝わるような書き方をしなくてはならないっていうのが、結構難しいポイントですね。

宮田 僕は、全体ゼミで奥村先生に、「学会は自分のやったことを発表する場じゃなくて、それを来てる人たちがこう使える・こういう役に立つよっていうのを発表する場だから」って言われたのを覚えてて、そこは覚えておいてほしいなと。「『こういうことに応用出来ますよ』ってところまで考えて発表する場だよ」って言われたのですごい勉強になりました。

坂口 「学会自体を楽しんでほしい」と思います。(同じ)学会に参加してる人って自分と似たような研究とか目線が違うところからやってたりするから、聞いてたら面白いっていうのはちょっと思ったかな。

「研究」で心がけてほしいこと

私は企業等での勤務経験がなく、ずっと研究・教育畑を歩んできました。その経験の中で、若い皆さんに伝えていきたいと思うことがいくつかあります。

① 病は気から、研究は健康から！

私たちの時間は有限で、研究以外にも、食事や睡眠、趣味など、時間が必要なことがたくさんありますよね？…とすると、限られた時間で研究をするためには、「集中力」が必要ですし、その集中力をキープするためには、何より体調の維持が必要です。



(D3の時)学会で訪れたスイスの登山列車駅売店に日本語の赤提灯発見！

② 研究は楽しんだ者勝ち！

これまでの実験や演習と異なり、研究は、答え自体が未知であったり、答えは既知でも、そこに至る道筋が不明であったりするケースも多々あります。必ずしも良い結果がでるとは限りませんし、むしろ悪い結果しか出ないこともあります。そんな時に、もうひと踏ん張りする原動力になるのが「好奇心」です。「楽しんだ」者勝ちです。もし、現在の研究テーマにイマイチ魅力が見いだせないなら、早めに先生に相談しましょう。



(30年後)ベトナムUITと学部間学術協定調印

③ 研究の成果は「他の誰かの幸せ」のために！

CPS Labは割と実学主義ではありますが、私たちのような、ソフトウェア寄りの研究をしていますと、ついつい「目先のバグ取りや成果出しで手一杯」になったり、「机上の空論」「数値の一人歩き」「我田引水・手前味噌」になったりする傾向があります。例え、十分な成果に至らなくても、志は高く保ち、「あなたの研究は、誰にとって、どんな利点があるの？」という質問に正面切って堂々と答えられる様になってほしいです。

④ 外れデータや雑音にも愛情と好奇心を！

実験をやっていると、雑音に悩まされたり、予測や期待から外れたりする場面が少なからず生じます。「この値さえなければきれいに回帰式に乗るのに！」と地団駄を踏むこともあります。でも、外れデータや雑音を邪険に扱おうと、データの改ざんや隠蔽などの不正に繋がる危険性もあります。「外れデータ」も「雑音」も大切なデータです。アルゴリズムや測定機器、測定方法の不備や問題点を示してくれているかもしれないし、希にはありますが、それが大発見に繋がることもあります。ノーベル賞に至った研究の中でもそんなケースも多くあります。失敗事例、外れデータや雑音にも愛情と好奇心を持ってみませんか？

執筆: 奥村 浩

編集後記

こんにちは、広報係の村上です。今回は、「広報誌ロゴ作成」、初の試み「対談企画」を実施しました。ロゴは、山口研の添島君にイメージを伝えて作成してもらいました。添島君、ありがとう！おかげで広報誌の雰囲気もさらに良くなったのではないのでしょうか。初の試み「対談企画」では、“はじめての学会”をテーマに話をしてもらいました。好評であれば、違うテーマでも実施予定です。来月号もお楽しみに！

お問い合わせはコチラまで

村上 (19704017@edu.cc.saga-u.ac.jp)